



ENEOS

2024年10月25日

各位

ENEOS株式会社

住友不動産グループとの廃食油の活用について ～航空燃料の原料への廃食油再活用に関する基本合意書の締結～

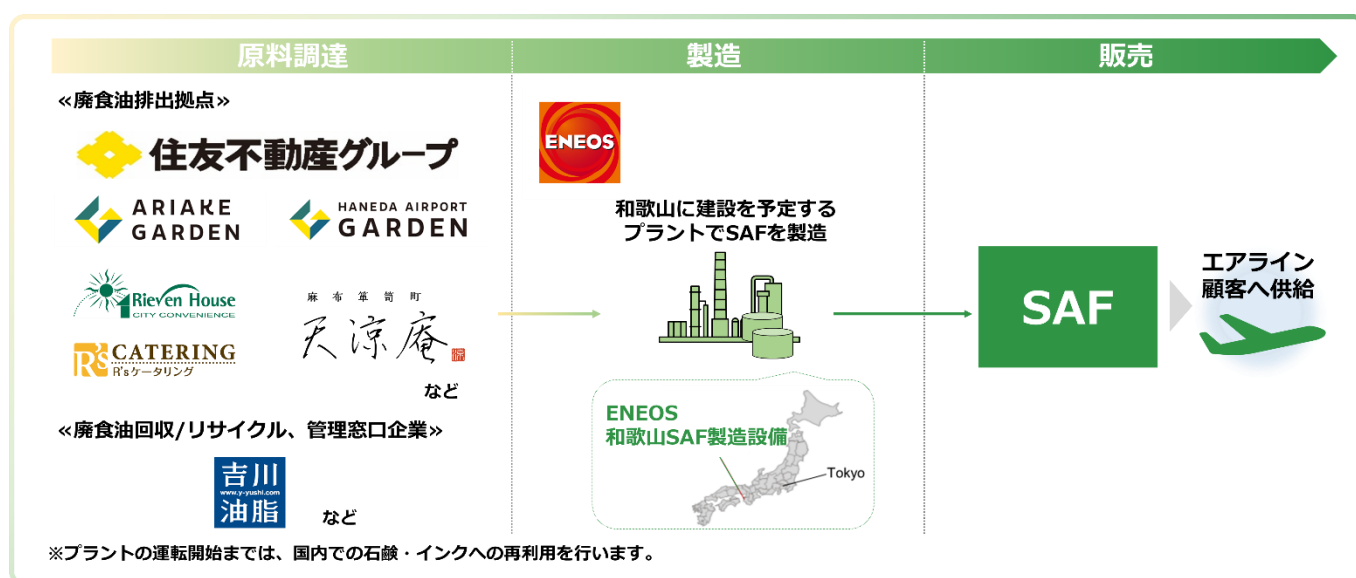
当社（代表取締役社長：山口 敦治）は、住友不動産株式会社（代表取締役社長：仁島 浩順）および住友不動産商業マネジメント株式会社（代表取締役社長：山本 直人、以下「住友不動産商業マネジメント」）、泉レストラン株式会社（代表取締役社長：勝村 雄太郎、以下「泉レストラン」と、廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

住友不動産商業マネジメントが運営する大規模複合施設「有明ガーデン」、「羽田エアポートガーデン」および泉レストランが運営するコンビニエンスストア「リーベンハウス」や飲食店「天涼庵」、ケータリングサービスなどから排出される廃食油を、株式会社吉川油脂（本社：栃木県佐野市）などが回収し、将来的には、当社が事業化を進めるSAFの製造プラント（和歌山製造所：和歌山県有田市、能力：40万キロリットル／年）で原料として使用する予定です。

当社は、グループ長期ビジョンに掲げる、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦しています。その一環として、SAFの原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築を進めており、SAFの製造に必要な廃食油や植物油を持続可能な形で確保するため、国内および世界にて、未活用の廃食油回収に向けた取り組みを多くのパートナーと協力し推進しております。

以上

【廃食油活用の流れ（イメージ）】



ENEOS株式会社

〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号